

令和5年2月14日

保護者の皆様

仙台市立東宮城野小学校  
校長 川村 美智

### 令和4年度 教育活動に関するアンケートの集計結果について

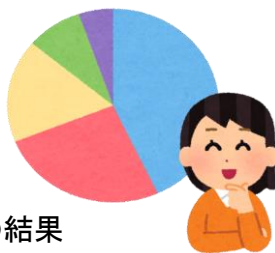
立春の候、保護者の皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、保護者の皆様に御協力をいただきました、令和4年度の「教育活動に関するアンケート」の結果がまとまりましたので、下記のとおりお知らせいたします。学校ではこの結果を参考に、教育活動の成果、課題を明らかにし、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートへの御協力につきまして、改めて感謝申し上げますとともに、次年度の教育活動に対する御理解・御協力をお願い申し上げます。

回答状況 令和5年2月1日現在

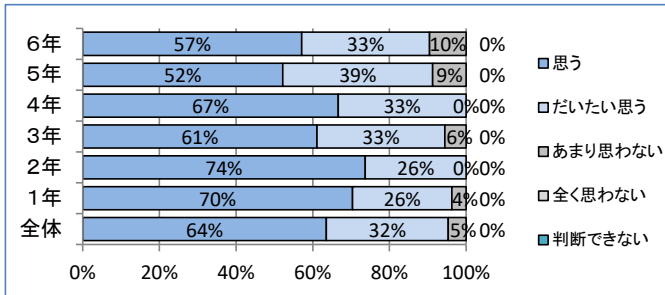
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	29	26	26	28	29	30	168
児童回答数(人)	28	26	25	27	29	28	163
児童回答率(%)	96.55	100	96.15	96.43	100	93.33	97.02
保護者回答数(人)	27	19	18	21	23	21	129
保護者回答率(%)	93.1	73.08	69.23	75	79.31	70	76.79



### 記

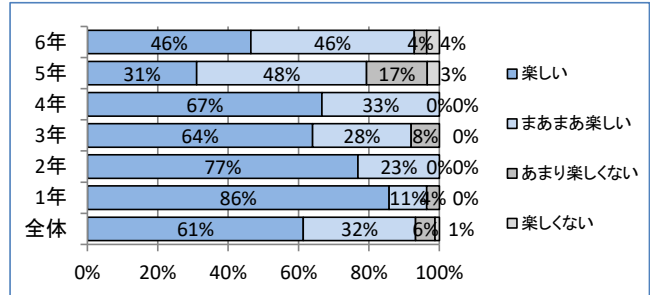
#### ○保護者アンケートの結果

1 お子さんは楽しく学校生活を送っていると思いますか



#### ○児童アンケートの結果

1 学校は楽しいですか

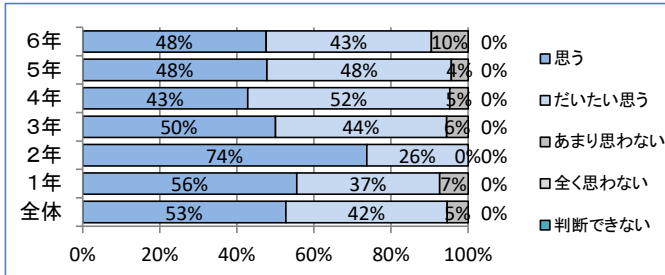


児童の93%が、「楽しい」「まあまあ楽しい」と回答し、保護者も96%が、「思う」「だいたい思う」と回答しました。特に2年生と4年生の保護者は、あわせて100%となり、良好な学校生活を送っている児童が多いことが伺えます。

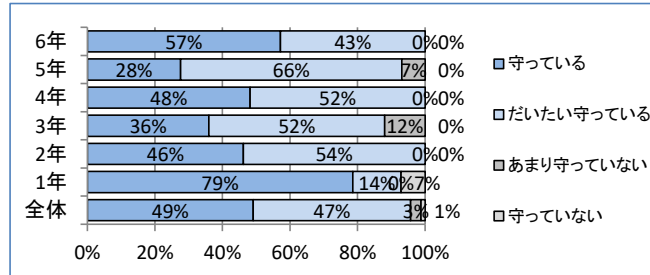
地域の特色を生かして、地域企業の出前授業や、見学体験活動を授業や行事等に計画的に取り入れていることも一つの要因ではないかと考えます。

一方、全体で6%の児童が「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答していますので、今後とも一人一人に寄り添った指導を行うことで、学校に来ること、学ぶことが楽しいと思える児童を増やしていきたいと思えます。

2 お子さんは学校のきまりを守って生活していると思いますか

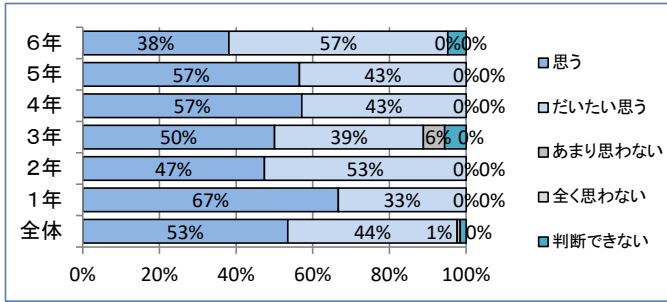


2 学校のきまりを守って生活していますか

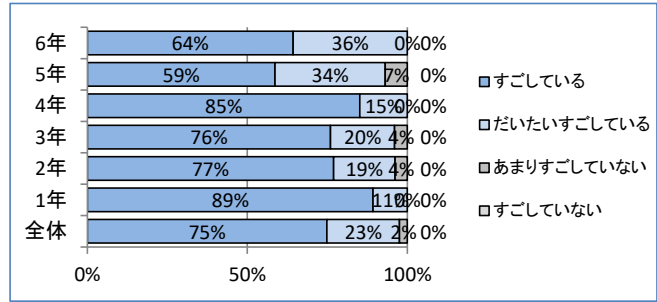


保護者の95%、児童の86%が「守っている」「だいたい守っている」と回答しました。昨年と同じ結果となりましたが、中、上学年の児童で「守っている」と答えた児童の割合に差が見られました。「東宮城野小スタンダード」や「東宮っ子マナー」などを学年に応じて、指導していくことで、皆が気持ちよく学校生活を送れるように、児童の規範意識を更に高めていきたいと思えます。

3 お子さんは学校で友達と仲良くすごしていると思いますか



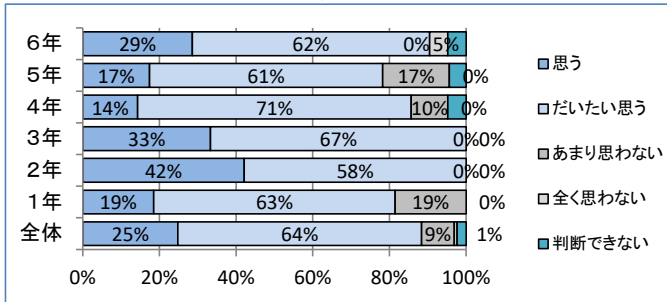
3 友達と仲よくすごしていますか



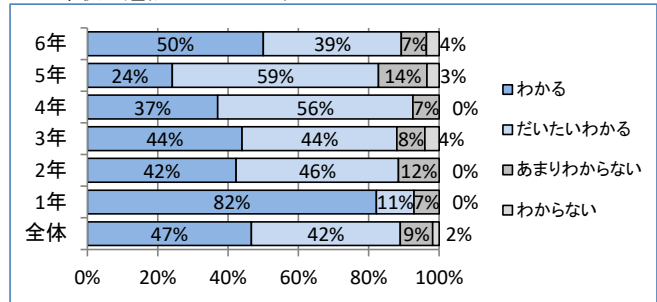
児童の約98%が、「すごしている」「だいたいすごしている」と回答し、保護者も97%が、「思う」「だいたい思う」と回答しました。特に1年生、4年生、6年生は肯定的な回答が100%で、保護者の肯定的な回答もかなり高い割合となりました。

普段から「いじめ防止」について指導する中で、児童が自分たちで作成した「ともだちルール」の取組が浸透し、「友達と仲良く過ごし、いじめは絶対にしない」という意識が身に付いてきていると感じます。今後も小規模校のメリットを生かしながら、児童のコミュニケーション能力を高めるとともに、学校全体で児童を見守り、児童の悩みに迅速に対応していきたいと思えます。

4 お子さんは学校での勉強を理解できていると思いますか



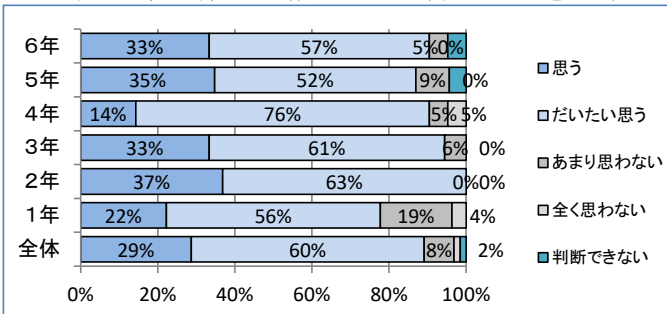
4 学校の勉強はわかりますか



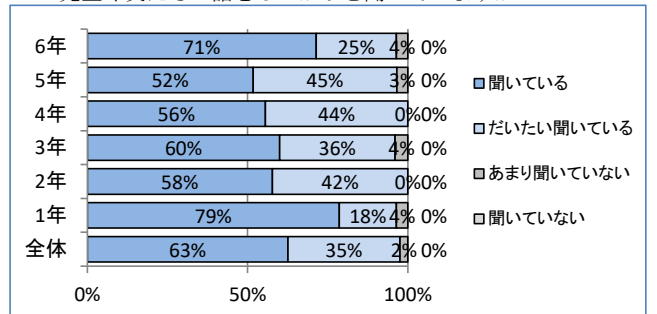
「わかる」、「だいたいわかる」と回答した児童は89%で、昨年の93%から割合が4%低下しています。保護者の肯定的な意見は89%で、こちらも昨年から3%低下しています。学校では、児童の理解度をしっかりと把握し、理解ができていない内容について少人数指導や個別の課題等で理解を深めていきます。

保護者の皆様は、これまででも学校から持ち帰ったテストやプリント、宿題や家庭学習の様子、クロームブックの使用状況などについて細かく見てくださっていますので、今後とも継続して児童の学習の様子を見守っていただけるようよろしくお願いいたします。

5 お子さんは先生や友だちの話をしっかりと聞いていますか



5 先生や友だちの話をしっかりと聞いていますか

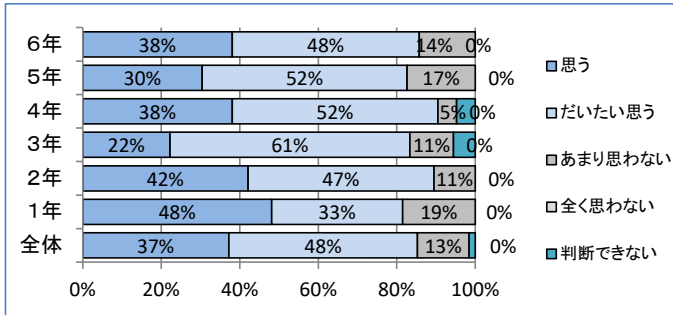


「聞いている」「だいたい聞いている」と回答した児童が98%で、特に、4年生は児童全員が、2年生は児童と保護者全員が肯定的な回答でした。お招きしたゲストティーチャーの方や来校されたお客様から、話の聞き方が素晴らしいと、称賛の言葉をいただいています。

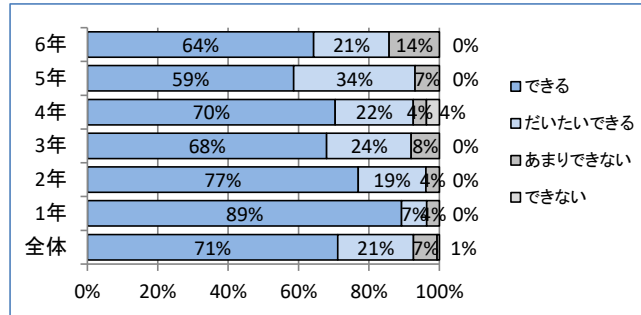
一方全学年で、児童の評価と保護者の評価を比べた場合、保護者の評価では否定的な回答が児童の割合よりも高くなっています。保護者が求めている「聞く力」は現在の児童の姿より高いレベルであることが推測されます。

今後は、聞く姿勢のみならず、例えば要点を押さえて聞くこと等、児童の聞く力を更に伸ばせるよう指導していきます。

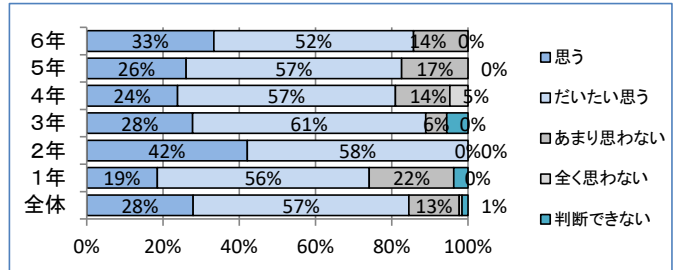
6 お子さんは4月より自分から挨拶をしたり、話し掛けたりすることができるようになったと思いますか



6 4月よりも自分から挨拶したり、話し掛けたりできるようになりましたか



6-2 お子さんは挨拶や場に応じた言動ができていると思いますか。



地域の方々へのアンケート結果より

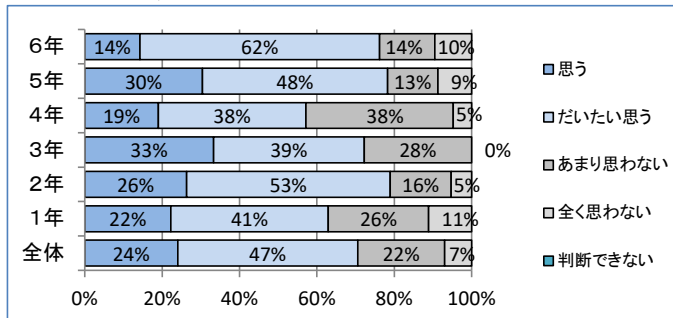
・本校の児童は4月よりも自分から挨拶したり、話かけたりできるようになったと思いますか。  
 「そう思う」21%  
 「だいたいそう思う」64%

・本校の児童は挨拶や場に応じた言動ができていると思いますか。  
 「そう思う」7%  
 「だいたいそう思う」78.5%

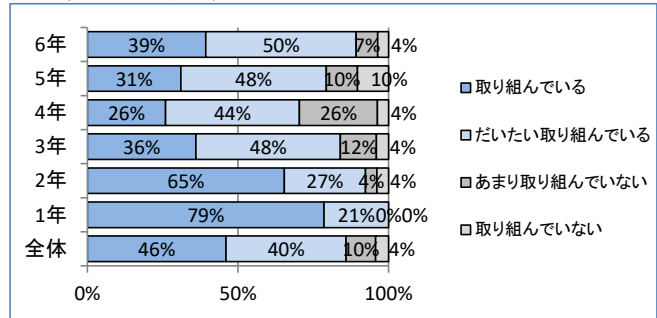
今年度児童には、挨拶をしたり、話し掛けたりすることについて、4月の自分自身と比較して、伸びが見られたかどうかを大切にするように指導してきました。そのこともあって、4月よりも「できるようになった」と回答した児童が全体の71%、「だいたいできるようになった」を加えると92%が肯定的な回答でした。保護者の肯定的な回答は児童のものよりは低かったのですが、4月の児童と比べた場合の肯定的な回答は85%でした。学校を訪れたお客様や地域の方々から、子供たちの挨拶に称賛の言葉をいただいております。

本校の児童の実態を見ますと、挨拶をしたり、発表したりと進んでコミュニケーションをとることに苦手意識を持っている割合が高いと感じます。苦手意識は簡単に払拭できるものではありませんが、今年度の取組のように、苦手なことも意識することで少しずつ力を伸ばしていけることを実感させ自信につなげていきたいと思っております。

7 お子さんは家庭での学習に自分から進んで取り組んでいますか



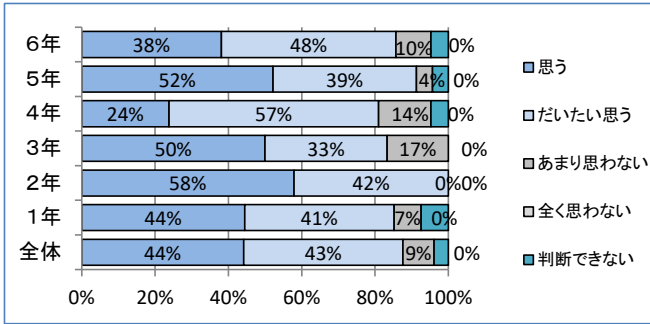
7 家庭での学習に、自分からすすんで取り組んでいますか



「取り組んでいる」「だいたい取り組んでいる」と回答した児童は86%で、昨年度の79%より増加しました。保護者は肯定的な回答が71%で、昨年度の79%より低下しています。保護者の見方では約30%の児童が家庭学習にあまり進んで取り組んでいない実態があるようです。ただ、高学年の肯定的な回答は、児童、保護者ともに学校全体の中で割合が高く、学年が上がる中で学習への意欲が高まっているのは良い傾向だと思います。

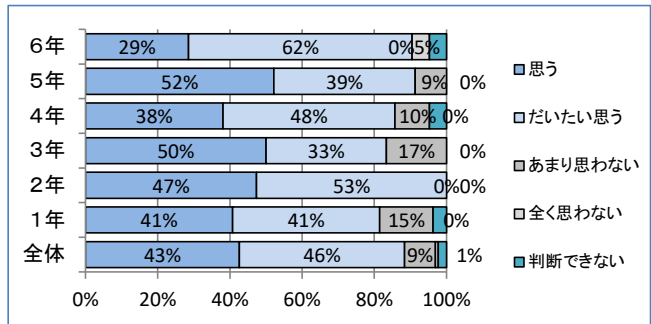
家庭学習については、クロームブックを活用するなどして、宿題の内容を見直ししながら、児童が取り組みやすくしていくように、全職員で今後も検討しながら実践していきますので、御家庭の御理解御協力をお願いいたします。

8 本校の教育活動に満足していますか



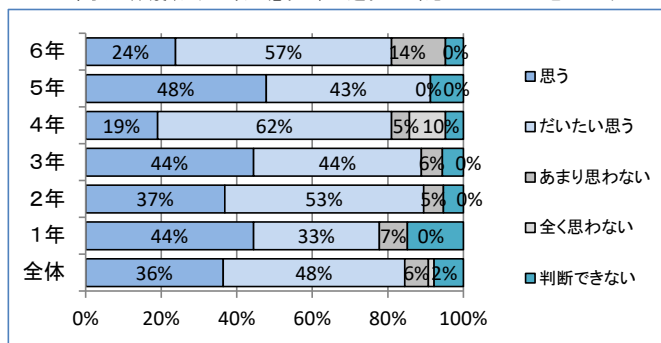
「思う」「だいたい思う」が87%と高い割合でした。学年に対して信頼を寄せていただいていることに感謝いたします。しかし、昨年度の96%よりは、割合が低下しているので、一人一人を大切にしながら、児童が楽しいと思う学校を目指して、保護者の皆様と更に連携を深めていきたいと思っております。

9 学校からの情報が適切に提供されていると思いますか



「思う」「だいたい思う」が89%と高い割合でした。学年によって割合に差も見られましたので、学年だより、ホームページなどでの情報発信に加えて、学年便りなどでも情報を伝えていけるように努力していきます。

10 学校は保護者や地域の意見等に適切に対応していると思いますか



「思う」「だいたい思う」と回答した割合が84%と、多くの保護者の方から肯定的な評価をいただきました。今回の調査で寄せられた自由記述の御意見に対して、実施できることについては速やかに実施したり、対応が適切ではなかったと思われる点について真摯に反省し、改善を図ったりしていきたいと考えています。今後も学校の対応等でお気付きの点などございましたら遠慮なくお知らせください。



学校運営協議会より(⇒は御意見を受けての学校の対応を示しました)

- ・保護者の回答を増やすためにも、自由記述にある保護者の方々の意見に応じていく必要がある。検討が必要なことは、検討中として、すぐに回答できないものがあったとしてもよいので、保護者の方々に伝えていく努力は必要である。  
⇒御意見に対する回答を掲載しました。
- ・家庭学習への児童の取組について(質問項目7)、低学年の保護者の方の否定的な意見が多いように感じた。児童館で宿題を行わせているため、家庭ではあまり宿題をやらないからではないかと考えた。保護者への啓発が必要かもしれない。  
⇒来年度、家庭学習については、児童館とも連携して取り組んでいきたいと思っております。
- ・東宮城野小学校の卒業児童は、6年間単学級で過ごしている中で人間関係を良好に保つ方法を学んでいると感じる。ほとんどが進学している東華中学校の中でも小学校時代の人間関係を良好に保ちながら、他の小学校出身の生徒とも上手に人間関係を築いていることが見受けられる。小規模校の取組がうまくいっていると思う。
- ・あけぼの教室の取組や、地域ボランティアの活動などで今後も児童の育成に携わっていききたい。
- ・コミュニティースクールになったので、学校運営協議会委員として、学校と協力して学校運営に力を尽くしていきたい。